

か、見向きすらしないんですよ。

徳太郎 勘違いではないのかい？

夏美 私もそう思って、見かけるたびにその人に挨拶したのですが、やはり同じ反応でした。こちらが挨拶しているのに無視するなんて、なんて失礼なんだろうと、イライラしてしまって。

徳太郎 それは嫌な気分になるね。挨拶されたら、挨拶を返すのは当然のことだよね。

夏美 他にも、無視ではないのですが、無言でちらつとこちらを一瞥するだけの人もいるんです。なんだか、あしらわれている気がして苛立つてしまっています。

先生 夏美は自分と同じように、元気な挨拶をしてほしいのかな。

夏美 そうですね。この前までは、挨拶することが楽しかったのですが、こんなふうにモヤモヤしてしまうんだつたら、挨拶するのも善し悪しだなと思い始めています。

先生 そうか……。なんだか不思議だね。

徳太郎 不思議、ですか？

先生 夏美は、良いこと・大事なこととされる行動をしているのに、なぜ、こんなふうに嫌な気持ちになってしまいますんだろう。

徳太郎 確かにそうですね。良いことをしたときって、清々しくて、気持ちいいものでもんね。

夏美 始めたばかりの頃は、そんな気持ちですよ。でも、続けるにつれて、ネガティブな感情をもつことが増えているような気がします。なぜなのでしょう。

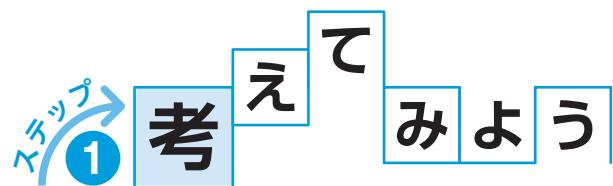
先生 自分と同じように挨拶を返してくれる、そして、さらにそこから会話が広がることが楽しいと言っていたね。もしかしたら、その体験から、当初は「挨拶すること」自体が目的だったのに、今は「挨拶が返ってくる」「会話が広がる」という「相手からの反応をもらうこと」が目的になつてはないかな。

夏美 言われてみると、どうかもしません……。

先生 挨拶をすることに、そうした「見返り」を求めるようになつたから、不満や苛立ちを感じるのかもしれないね。ふたりは、平清盛を知っているよね。

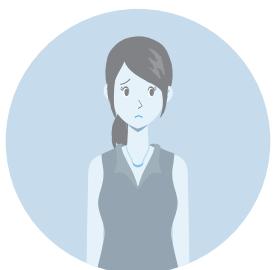
徳太郎 平安時代に武家政権を確立した有名な武将ですよね。

先生 そうだね。清盛の生き方から、見返りを求めることが、自分や周囲にどのような影響を及ぼすか、学んでみよう！



私は挨拶しているのに……！

登場人物



なつみ
夏美
れいろうカレッジの学生



じゅうじゅうせんせい
ジョシュ先生
れいろうカレッジ道徳科の教授



とくたろう
徳太郎
れいろうカレッジの院生。
ジョシュ先生の助手

ここは、れいろうカレッジ道徳科の教授・ジョシュ先生の研究室。今日はカレッジの学生・夏美さんが来ていますよ。

夏美 ジョシュ先生、こんにちは！ 先日、先生から「挨拶は道徳的な行動の第一歩」と教えていただったので、最近、意識的に挨拶をするようにしているんです。

ジョシュ先生 やあ、夏美。それは良い心がけじゃないか。

夏美 初めは、自分から挨拶をすることに躊躇することもあったのですが、勇気を出して続けていると、にこやかに挨拶を返してくれる人も多いんですよね。単なる顔見知りだった人とも会話する機会が増えました。

徳太郎 挨拶ひとつで交友関係が広がるなんて、素敵だね。

夏美 最近までは楽しく挨拶できていたんです。でも、中には挨拶を返してくれない人がいることに気づいてしまって……。

徳太郎 夏美が挨拶をしても、無視されるということかな？

夏美 そうなんです。会釈もしてくれないどころかかな。

徳太郎 確かにそうですね。良いことをしたときって、清々しくて、気持ちいいものでもんね。

夏美 始めたばかりの頃は、そんな気持ちですよ。でも、続けるにつれて、ネガティブな感情をもつことが増えているような気がします。なぜなのでしょう。

先生 自分と同じように挨拶を返してくれる、そして、さらにそこから会話が広がることが楽しいと言っていたね。もしかしたら、その体験から、当初は「挨拶すること」自体が目的だったのに、今は「挨拶が返ってくる」「会話が広がる」という「相手からの反応をもらうこと」が目的になつてはないかな。

夏美 言われてみると、どうかもしません……。

先生 挨拶をすることに、そうした「見返り」を求めるようになつたから、不満や苛立ちを感じるのかもしれないね。ふたりは、平清盛を知っているよね。

徳太郎 平安時代に武家政権を確立した有名な武将ですよね。

先生 そうだね。清盛の生き方から、見返りを求めることが、自分や周囲にどのような影響を及ぼすか、学んでみよう！